

身近な情報をお寄せください

総務課行政係 内線213・214

✉gyousei@town.kanra.lg.jp

町の NEWS わだいの

ふるさとの味 轟みそ造り

樽にみそを詰める組合員の皆さん



麦の粒が残る風味と香りのよいみそは、KANRAブランド認定商品第1号。道の駅甘楽などで販売されています。

轟みそ生産組合(森平正親組合長)のみそ造り作業が1月14日から2月14日まで轟味噌加工所で行われました。

80年にわたり造り続けられている轟みそは、毎年1月中旬に仕込みが始まります。今年も轟地区の男性約20人が1日3人ずつ交代で作業を行いました。3日かけて順番に造る麦麴に塩、煮た大豆をつぶして混ぜ合わせ、1日に仕込む量は480kg。仕込んだみそは、熟成させて10月ごろに完成します。

森平組合長は「地域の皆さんが本気で協力して成り立っています。伝統の味を守り、これからも頑張っていきたい」と話されました。

歴史と伝統のある町の特産品轟みそは、個人からの注文も多く、また、学校給食や道の駅甘楽のピザなどにも使用されています。

瑞宝双光章を受章 小金澤さん

陸上自衛隊の自衛官として36年余りの長きにわたり勤務された小金澤照昌さん(善慶寺)が危険業務従事者叙勲の瑞宝双光章を受章しました。

測量や情報分析など情報業務を中心に従事し、指揮官としても8年ほど務められた小金澤さんは、国民の安全を守るために責任感を持って、誠実かつ積極的に職務を遂行されました。

小金澤さんは「今回の受章は上司や同僚、部下、家族に支えられて、授与されたものと感謝している。これからは、自衛官としての経験をもとに、地域に恩返しできるように、地域住民のために役に立ちたい」と話されました。現在は渋川市の危機管理室で防災専門員として活躍されています。



由田さんの100歳を慶祝

由田邦子さん(大正9年2月1日生まれ・上野)が100歳の誕生日を迎えられ、2月1日に茂原町長が入所先の介護老人保健施設「こまち」(富岡市)を訪問し、慶祝状と祝金を手渡しました。

由田さんは上野のお生まれで、4人姉弟の長女として育ち、指圧師として70代後半まで仕事に励んでこられました。

特に甘い物が大好きという由田さんは、施設に入所するまでは、緑茶と梅干し、健康のために保健師に勧められたスキムミルクを毎日欠かさなかったそうです。この日は、家族や施設の職員に誕生日をお祝いされ、笑顔で応えていました。



キウイフルーツで県知事賞受賞 山田さん

自慢のキウイと山田さんご夫妻



キウイフルーツの第31回県品評会が1月21日、県庁県民ホールで開かれました。糖度や形、果肉の色などが審査され、山田省吾さん(轟)の「ヘイワード」が最高賞の知事賞に選ばれました。

山田さんは、妻の朝子さんとともに先代から受け継いだキウイフルーツ栽培を続けており、今回、朝子さんも上毛新聞社賞を受賞しました。キウイは、昨年の日照不足の影響で、平年に比べると小粒で収穫量は減ったものの、酸味と糖度のバランスがよいものが収穫できたそうです。山田さんは「愛情を込めて、よりおいしいキウイフルーツを作り続けていきたい」と話されました。このほか町からは、県議会議長賞に大野幸雄さん(善慶寺)、県農業協同組合中央会長賞に柴山シズ子さん(轟)が選ばれました。

冬の星空を楽しむ 甘楽中

天体観測会が1月31日の夜、甘楽中学校で行われました。科学部を中心とした生徒や保護者など約40人が参加し、県立ぐんま天文台職員と同天文台の星空案内人「星のソムリエ」の皆さんを講師に迎えて、夜空に輝く星などを観察しました。

参加した科学部員10人は、冬の星座や惑星などについて説明を受け、天体望遠鏡の操作方法を学び、自分たちで望遠鏡を組み立てました。校庭で望遠鏡をのぞいて月やシリウスを確認した生徒たちからは、感動の声が上がりました。



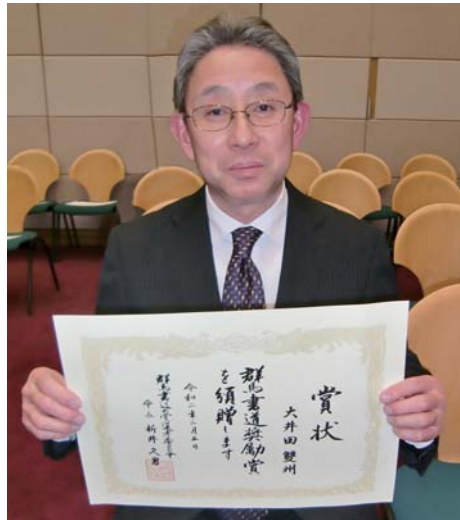
↑天体望遠鏡の組み立て方の指導を受ける科学部員

←空気の澄んだ空を見上げて、月や星を眺める参加者

群馬書道奨励賞受賞 大井田さん

第23回群馬書道大賞・群馬書道奨励賞が決定され、大井田雙州さん(雅号・小川の大井田晃さん)が群馬書道奨励賞を受賞し、2月5日に高崎信用金庫本店で表彰式が行われました。

大井田さんは、昭和59年に水谷龍雲先生(富岡市)に師事して36年、漢字を中心に書道の活動を行っています。県書道展委嘱大賞、毎日書道展毎日賞ほか多数の受賞歴があり、県書道展審査員などの役職も務め、書道の振興に尽力されています。現在高崎健康福祉大学高崎高等学校教諭で、書道部顧問としても活躍されている大井田さんは「受賞は師匠のおかげであり、感謝しています。筆で字を書く大事さを多くの人に伝えていきたい」と受賞の喜びを話されました。



高崎信用金庫本店ギャラリーに作品3点が展示されています。(4月17日までの平日午前9時30分～午後4時)



展示されている大井田さんの作品「陸放翁の詩『涼生池閣衣巾爽。潤入園林草木鮮。』」

上毛かるた 郡・県大会で健闘！

個人戦



第45回甘楽郡子ども会上毛かるた大会(郡子ども会育成団体連絡協議会主催)が、1月26日に下仁田町公民館で開催されました。下仁田町、南牧村、甘楽町の代表児童生徒が、真剣な表情で熱戦を繰り広げました。

小学生低学年、高学年の部門で団体戦と個人戦、中学生の部門で団体戦を行い、各部門の優勝者は、2月15日開催の第73回上毛かるた競技県大会(ALSOKぐんま武道館(前橋市))に出場し健闘しました。郡大会の結果は次のとおりです。(敬称略)

郡大会 小学生高学年の部

- 【団体】
 優勝 たいよう子ども会(新屋)
 (富田ありす、黒澤実菜、古舘りおな、堀口真奈)
 第3位 若草子ども会(新屋)
 (谷川愛里、諏訪沙枝、田村 翼、松本紗奈)
- 【個人】
 準優勝 武田陽菜乃(すぎのこ子ども会：福島)
 第3位 田中伶奈(若草子ども会：新屋)

郡大会 小学生低学年の部

- 【団体】
 優勝 若草子ども会(新屋)
 (谷川ありさ、横山紬希、山崎茉莉、渡邊莉央)
- 【個人】
 優勝 青木桜月(町子ども会：小幡)
 準優勝 土屋美緒(あすなろ子ども会：福島)



団体戦

郡大会 中学生の部

- 【団体】
 準優勝 甘楽町子ども会

『いきいきクラブ活動紹介』では町内で活動する文化および
体育協会登録団体のクラブ活動を紹介します。

甘楽富岡合気会



- ◆代表者 山田正和 (高崎市)
- ◆会員数 10人
- ◆設立年 前身は富岡市民合気会。2015年甘楽町に拠点を移す



四教抑え

活動内容

毎週土曜日の午後2時～3時(子どもクラス)と午後3時～4時30分(一般クラス)に、旧甘楽二中武道場で合気道の稽古をしています。2人1組でいろいろな技の型を行い、技をかけた後、受け身をとったり、交互に行います。また、護身術、柔術、武器術などの稽古も行っています。

今後の予定・目標など

稽古そのものを楽しみながら、県内外で開催される演武会へ参加したり、稽古日数に応じて昇級昇段審査に挑戦したりします。また、護身術も身に付けられるように練習を行っています。



心穏やかに稽古に励みます

クラブの特徴

合気道の掲げる和合の精神(相手を痛めつけたり、競い合ったりするのではなく、相手に合わせるという考え方)のもと、年齢、性別、習熟度に関係なく、和気あいあいと教え合いながら、笑顔で汗を流しています。決して無理はしないで、自分に合うペースで楽しみながら稽古しています。

住民の皆さんに一言

合気道は、運動経験の有無にかかわらず誰にでもできる生涯武道です。健康のために軽く運動したい人やちょっと興味があるという人は気軽にお立ち寄りください。見学や体験でもできます。詳しくは山田代表(090・3098・2946)まで。



親子で稽古。四方投げ